



川崎市立多摩病院



聖マリアンナ医科大学

19号

冬

たま病院ニュースレター

TAMA Hospital News Letter 2014



病院長からのご挨拶

鈴木 通博



平成 26 年 4 月より病院長に就任いたしました。この場を借りましてご挨拶させていただきます。

多摩病院は平成 18 年 2 月に開院し、救急および災害時医療を中心とした急性期の医療を担う『市民のための病院』として 9 年目を迎えました。私は開院と同時に赴任し、外来、入院診療体制の整備を担当する副院長として歩んできました。当院は、平成 23 年からは地域医療を支援する病院として川崎市から承認され、地域の先生

方との連携をより強力にすることにより、救急患者さんを中心に入院加療が必要な患者さんや当院で治療が必要な患者さんをよりスムーズに受け入れる体制を構築してまいりました。

近年、高齢化が進む中、高齢者医療においては患者さんを臓器、疾患、症状を超えて診療することの重要性が指摘されています。当院では、本年 4 月から聖マリアンナ医科大学総合診療内科の医師が多数赴任し、臓器、疾患、症状を超えて横断的に患者さんを診療する体制を開始しました。その一方で、臓器や疾患に特化した外来診療においては、患者さんの医療に対する高い要望もふまえ、リウマチ・膠原病、肝疾患などの専門外来の増設を行いました。いずれも、今後、一層の充実をはかっていきたいと考えています。

多摩病院は、これからも安心・安全な医療をお届けする地域に根ざした市立病院として全職員を挙げて努力して参ります。よりよき医療をめざすために、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【病院機能評価の認定更新】

事務部 小林章利

川崎市立多摩病院は平成 26 年 6 月 6 日付で公益財団法人日本医療機能評価機構から病院機能評価の再認定を受けました。5 年前にも機能評価の認定を受けておりますが、今回は新しい「機能種別版評価項目 3rdG : Ver.1.0」で受審しました。平成 26 年 2 月の受審に向け、約 1 年にわたり準備を整えてまいりました。すべての部門が一丸となって取り組んだ結果、5 項目で S 評価、その他ほとんどの項目で A 評価という高評価で認定をいただくことができました。

病院機能評価は、病院が組織的に医療を提供するための基本機能が、適切に行われているか否かを評価するものです。患者様や地域の皆様から信頼を得られる安全かつ安心な医療を提供するために、日々たゆまぬ努力を積み重ねている事が求められています。

もちろん、病院機能評価を受審する時期だけでなく常に認定基準を超える医療を、患者様や地域の皆様へ提供し続けることができた時に初めて、今回いただいた高評価が多摩病院の実力であることが証明されます。これからも引き続き病院全体で継続的に取り組みを実施していきたいと思っております。

<S評価> 秀でている 5項目

1. 患者支援体制を整備し、患者との対話を促進している (1.1.4)
2. 患者・面会者の利便性・快適性に配慮している (1.6.1)
3. 療養環境を整備している (1.6.3)
4. 患者・家族からの医療相談に適切に対応している (2.2.6)
5. 患者・家族への退院支援を適切に行っている (2.2.19)

<A評価> 適切に行われている 74項目

<B評価> 一定の水準に達している 7項目

